

(11)Publication number : **2003-023576**
(43)Date of publication of application : **24.01.2003**

H04N	5/44
H04N	5/57
H04N	5/60
H04N	5/64

(72)Inventor : TAGAWA HIROCHIKA
ODA OSAMU

[illegible]

<http://www19.ipdl.ncipi.go.jp/PA1/result/detail/main/wAAATtaqYYDA415023576P1.htm> 9/16/05

(19) 日本国特許庁 (J P)

(12) 公開特許公報 (A)

(11) 特許出願公開番号
特開2003-23576
(P2003-23576A)

(43) 公開日 平成15年1月24日 (2003.1.24)

(51) Int.Cl. ⁷	識別記号	F I	テームコード* (参考)
H 0 4 N	5/44	H 0 4 N	H 5 C 0 2 5
	5/57		5 C 0 2 6
	5/60		C
	5/64	5 5 1	5 5 1 B

審査請求 未請求 請求項の数 6 O L (全 9 頁)

(21) 出願番号 特願2001-205170(P2001-205170)

(22) 出願日 平成13年7月5日 (2001.7.5)

(71) 出願人 000002185

ソニー株式会社

東京都品川区北品川6丁目7番35号

(72) 発明者 田川 博規

東京都品川区北品川6丁目7番35号 ソニー株式会社内

(72) 発明者 織田 収

東京都品川区北品川6丁目7番35号 ソニー株式会社内

Fターム(参考) 5C025 AA23 BA27 CA09 DA01

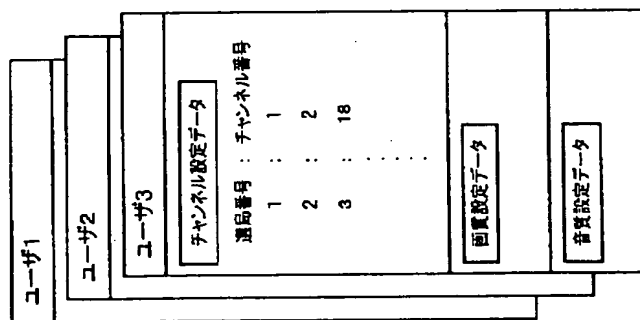
5C026 CA01 CA02 CA03 DA05 DA19

(54) 【発明の名称】 テレビジョン受像機

(57) 【要約】

【課題】 従来のテレビジョン受像機は、1種類のプリセットデータを記憶するのみであるので、多チャンネル化が進んで選局ボタンの数よりもチャンネル数が多くなると、直接選局するのが困難となり、視聴者が所望するテレビ放送を受像機画面上に表示するまでに手間がかかるという課題があった。

【解決手段】 テレビジョン受像機において、それぞれがいずれか1つのテレビ放送を特定するための選局情報を出力可能であるように複数個設けられた選局手段をそれぞれ識別する選局番号と、テレビ放送を特定するチャンネル番号とを対応付けるチャンネル設定データを少なくとも有しているTV設定情報ファイルを複数個記憶する記憶手段を備える。



【特許請求の範囲】

【請求項 1】 それぞれがいずれか 1 つのテレビ放送を特定するための選局情報を出力可能であるように複数個設けられた選局手段をそれぞれ識別する選局番号と、テレビ放送を特定するチャンネル番号とを対応付けるチャンネル設定データを少なくとも有している TV 設定情報ファイルを複数個記憶する記憶手段を備えたテレビジョン受像機。

【請求項 2】 TV 設定情報ファイルが、所望の画質状態を規定する画質設定データを有することを特徴とする請求項 1 記載のテレビジョン受像機。

【請求項 3】 TV 設定情報ファイルが、所望の音質状態を規定する音質設定データを有することを特徴とする請求項 1 記載のテレビジョン受像機。

【請求項 4】 放送される特定のジャンルに対応する TV 設定情報ファイルを記憶手段に記憶することを特徴とする請求項 1 記載のテレビジョン受像機。

【請求項 5】 特定の曜日、時間帯、あるいは曜日と時間帯に対応する TV 設定情報ファイルを記憶手段に記憶することを特徴とする請求項 1 記載のテレビジョン受像機。

【請求項 6】 複数個の TV 設定情報ファイルを記憶する記憶手段が、テレビジョン受像機に着脱可能な外部記憶媒体であることを特徴とする請求項 1 記載のテレビジョン受像機。

【発明の詳細な説明】

【0001】

【発明の属する技術分野】この発明は、地上波放送、BS デジタル放送、CS デジタル放送、あるいは CATV 放送等の多チャンネルのテレビ放送信号を受信するテレビジョン受像機に係り、特にリモートコントローラまたはテレビジョン受像機のフレーム前面部等に設けられた選局手段と視聴頻度の高いチャンネルとをそれぞれ対応付けることで視聴者が所望する多くのテレビ放送の直接選局を可能とするプリセットチャンネル機能を備えたテレビジョン受像機に関するものである。

【0002】

【従来の技術】例えばリモートコントローラに具備された選局ボタンのような選局手段と、テレビジョン受像機に入力されるテレビ放送信号を特定するチャンネルとをそれぞれ対応付けるプリセットチャンネル機能については、従来のテレビジョン受像機は 1 種類のプリセットデータを記憶するのみであった。また、画質や音質に係る設定については、前回視聴時の最終的な画質状態および音質状態を規定するデータが記憶されて、次にテレビジョン受像機を起動した場合には前回視聴時の最終的な画質状態および音質状態が再現される。

【0003】

【発明が解決しようとする課題】現在、BS デジタル放送が既に開始されているとともに、CS デジタル放送お

よび地上波デジタル放送についても今後実施が予定されている。また、ケーブルテレビ (CATV) 放送の普及率も増加している。このような状況下において、テレビジョン受像機が受信するテレビ放送信号に係るチャンネル数は増大し、例えばリモートコントローラに設けられていてそれぞれ 1 つのチャンネルを特定する選局ボタンの数よりもテレビ放送に係るチャンネルの数がはるかに多くなるので、所望のテレビ放送に応じたチャンネルを選局する際に、直接選局することができずに所定の切換ボタンを操作して昇方向または降方向に順次チャンネル番号を切り換えるか、あるいは“0”～“9”の数字キーから成るテンキーを操作して所望のチャンネル番号を数字により特定する必要が生じるケースが多々発生して、視聴者が所望するテレビ放送を受像機画面上に表示するまでに手間がかかるという課題があった。

【0004】また、プリセットチャンネル機能を用いて、例えば視聴する頻度の多いチャンネルをそれぞれ選局ボタンに対応付けることで直接選局できる割合を増やすことが可能であるが、例えば一家族で一台のテレビジョン受像機を所有する場合のように視聴者が複数いる際には各視聴者毎のテレビ放送に対する嗜好に差異があって視聴頻度の多いチャンネルがそれぞれ異なるために、所望のチャンネルを選局ボタンにより直接選局できないケースが多々生じるという課題があった。

【0005】また、視聴者の多少にかかわらず、それぞれのチャンネルの視聴頻度は曜日や時間帯毎に変わるために、1 種類のプリセットデータを基に直接選局を支援するのみでは、各曜日別または各時間帯別の視聴傾向の偏りに対応することができないという課題があった。

【0006】また、視聴者が複数いる場合等においては、各視聴者毎のテレビ放送に係る画質および音質に対する嗜好に差異があるために、テレビジョン受像機を起動した際に前回視聴時の最終的な画質および音質を再現するのみでは、所望の画質状態および音質状態を得ることができないケースが多々生じて、その都度画質状態および音質状態を変更する必要が生じて手間がかかるという課題があった。

【0007】この発明は上記のような課題を解決するためになされたもので、視聴者が所望するテレビ放送を迅速かつ簡便に受像機画面上に表示することを可能とするテレビジョン受像機を得ること、並びに視聴者が所望する画質状態および音質状態を迅速かつ簡便に実現することを可能とするテレビジョン受像機を得ることを目的とする。

【0008】

【課題を解決するための手段】この発明に係るテレビジョン受像機は、それぞれがいずれか 1 つのテレビ放送を特定するための選局情報を出力可能であるように複数個設けられた選局手段をそれぞれ識別する選局番号と、テレビ放送を特定するチャンネル番号とを対応付けるチャ

3

ンネル設定データを少なくとも有しているTV設定情報ファイルを複数個記憶する記憶手段を備えるようにしたものである。

【0009】この発明に係るテレビジョン受像機は、TV設定情報ファイル内に所望の画質状態を規定する画質設定データを含むようにしたものである。

【0010】この発明に係るテレビジョン受像機は、TV設定情報ファイル内に所望の音質状態を規定する音質設定データを含むようにしたものである。

【0011】この発明に係るテレビジョン受像機は、放送される特定のジャンルに対応するTV設定情報ファイルを記憶手段に記憶するようにしたものである。

【0012】この発明に係るテレビジョン受像機は、特定の曜日、時間帯、あるいは曜日と時間帯に対応するTV設定情報ファイルを記憶手段に記憶するようにしたものである。

【0013】この発明に係るテレビジョン受像機は、複数のTV設定情報ファイルを記憶する記憶手段として、テレビジョン受像機に着脱可能な外部記憶媒体を用いるようにしたものである。

【0014】

【発明の実施の形態】以下、添付の図面を参照して本願発明に係る実施の形態を説明する。なお、以下の説明においては、本願発明の実施の形態に係る各手段と、特許請求の範囲に記載された発明の各手段との対応関係を明らかにするために、実施の形態に係る各手段にそれぞれ対応する特許請求の範囲に記載された発明の各手段を適宜かつ書きにより示すものとする。

【0015】実施の形態1。図1は、この発明の実施の形態1によるテレビジョン受像機を有するTVシステムの構成を示す斜視図である。図1において、1はテレビジョン受像機、2は表示画面、3は例えばMemory Stick（ソニー（株）の登録商標）等のメモ리카ードとして与えられるテレビジョン受像機1に対して着脱可能な外部記憶媒体（記憶手段）、4は外部記憶媒体挿入口、5は複数の選局ボタン（選局手段）を備えたリモートコントローラ、6はユーザ変更ボタンである。図2は、この発明の実施の形態1によるテレビジョン受像機の構成を示すブロック図である。図2において、11はU/VアンテナまたはCATV同軸ケーブルから入力するテレビ放送に係るRF信号を周波数変換して中間周波信号を出力するチューナ回路、12はチューナ回路11から入力する中間周波信号を映像中間周波増幅するVIF回路、13は映像中間周波増幅の過程において取り出される音声第2中間周波信号をFM検波した後適宜増幅して音声信号を出力するオーディオIC回路、14はスピーカ、15はVIF回路12から入力する映像中間周波信号の映像検波、検波出力に基づく水平および垂直同期信号の分離、色再生処理等を実施するビデオIC回路、16はCRTディスプレイ、17はテレビジョン受像機に係る種

4

々の制御・演算処理等を実施するマイクロコンピュータ、18はマイクロコンピュータ17と外部記憶媒体3との間のデータの出力制御等を実施するインタフェース回路、19はマイクロコンピュータ17に接続され書き込み可能な不揮発性の内部メモリとして与えられるEEPROM（記憶手段）、20は例えばテレビジョン受像機のフレーム前面部に設けられる電源スイッチ、選局キー（選局手段）、ボリュームスイッチ等から成るスイッチ群である。また、図3は、この発明の実施の形態1によるテレビジョン受像機において使用されるTV設定情報ファイルの一例を示す図である。

【0016】次に、本願発明によるテレビジョン受像機を有するTVシステムに係る動作について説明する。まず、図2に基づいてテレビジョン受像機の基本動作について説明する。チューナ回路11は、テレビ放送信号の入力源としてU/VアンテナまたはCATV同軸ケーブルのいずれか一方に接続して、視聴対象のテレビ放送に対応するチャンネルのRF信号を周波数変換して中間周波信号を出力する。VIF回路12は、チューナ回路11から入力する中間周波信号を映像中間周波増幅して、映像中間周波増幅信号をビデオIC回路15に出力する。また、VIF回路12は、周波数変換して得られた中間周波信号の周波数と基準中間周波数とのずれに応じたAFT信号を出力する。オーディオIC回路13は、映像中間周波増幅の過程で音声中間周波信号から取り出される第2音声中間周波信号を入力して、音声信号をFM検波するとともに適宜増幅してスピーカ14へ供給する。ビデオIC回路15は、入力する映像中間周波増幅信号を映像検波して映像信号を取り出し当該映像信号から水平および垂直同期信号SYNCを分離出力するとともに、色再生処理を実施してRGB信号を供給しCRTディスプレイ16をドライブする。マイクロコンピュータ17は、リモートコントローラ5またはスイッチ群20等から入力されるコマンド、AFT信号等に基づいて、所望のチャンネルを選局して当該チャンネルに係る周波数微調整を実施するように周波数データをチューナ回路11へ出力するとともに、所望の画質状態および音質状態を得るように映像制御データおよび音声制御データをそれぞれビデオIC回路15およびオーディオIC回路13へ出力する。

【0017】次に、テレビ放送に係る選局動作等のような本願発明特有の動作について説明する。図3は、本願発明で用いられるTV設定情報ファイルの一例を示す図である。本願発明は、図3に示されるようなTV設定情報ファイルを複数有することを特徴とするものであり、このような複数のTV設定情報ファイルは外部記憶媒体3のようにテレビジョン受像機1に対して着脱可能な記憶媒体に記憶されるか、あるいはEEPROM19のようにマイクロコンピュータ17に接続されているテレビジョン受像機内蔵の書き込み可能な不揮発性メモリに記

憶される。

【0018】視聴者は、テレビジョン受像機を起動すると、リモートコントローラ5のユーザ変更ボタン6を操作して、所望のチャンネル設定、画質設定、音質設定等がなされているTV設定情報ファイルを選定する。例えば図3においてファイル名“ユーザ3”が付されたTV設定情報ファイルが選定されたとすると、マイクロコンピュータ17は、インタフェース回路18を介して外部記憶媒体3に格納されたTV設定情報ファイル“ユーザ3”内のデータを参照して、あるいはEEPROM19に格納されたTV設定情報ファイル“ユーザ3”内のデータを参照して、チャンネル設定、画質設定、音質設定等を実施する。なお、選定されたTV設定情報ファイルを参照するに際しては、選定されたTV設定情報ファイルを一旦外部記憶媒体3またはEEPROM19から読み出すとともにマイクロコンピュータ17に接続された図示されないRAMに書き込んだうえで、当該RAMから随時データ参照を実施するような方式をとることもできる。

【0019】チャンネル設定については、TV設定情報ファイル“ユーザ3”を例として説明すると、マイクロコンピュータ17は、TV設定情報ファイル“ユーザ3”内のチャンネル設定データに基づいて、リモートコントローラ5に設けられた選局ボタンやスイッチ群20内の選局キー等のようにそれぞれが1つのチャンネルに割り当てられて当該チャンネルを特定する選局情報を出力可能である選局手段をそれぞれ識別する番号（以下、選局番号と称する）と、それぞれのテレビ放送を特定するチャンネル番号とを対応付ける。TV設定情報ファイル“ユーザ3”を基にすると、選局番号1はチャンネル番号1に相当し、選局番号2はチャンネル番号2に相当し、選局番号3はチャンネル番号18に相当する。したがって、視聴者によりリモートコントローラ5の選局番号3の選局ボタンが押下されれば、マイクロコンピュータ17は、選局番号3に対応付けられているチャンネル番号18のテレビ放送を受像機画面上に表示するように、チャンネル番号18に係る周波数データをチューナ回路11へ出力する。このように、チャンネル番号3のテレビ放送よりもチャンネル番号18のテレビ放送を視聴する頻度が多い視聴者にとっては、TV設定情報ファイル“ユーザ3”を用いたチャンネル設定を利用することで、チャンネル番号18のテレビ放送を直接選局することが可能となる。

【0020】また、画質設定および音質設定については、マイクロコンピュータ17は、TV設定情報ファイル“ユーザ3”内の画質設定データおよび音質設定データに基づいて、当該データにより規定される画質状態および音質状態を実現するように、映像制御データをビデオIC回路15に出力するとともに、音声制御データをオーディオIC回路13に出力する。

【0021】なお、TV設定情報ファイルは視聴者別のみ作成する必要はない。図4および図5は本願発明で用いられるTV設定情報ファイルの他の例を示す図である。図4に示されるように、視聴するテレビ放送の内容すなわちジャンル別に、例えば“ニュース”、“アニメ”等のファイル名を有するTV設定情報ファイルを作成してもよい。また、曜日あるいは時間帯によって通常は視聴するテレビ放送が異なるから、図5に示されるように、曜日別、時間帯別、曜日および時間帯別に、例えば“土曜日”、“18:00-24:00”、“土曜日18:00-24:00”等のファイル名を有するTV設定情報ファイルを作成してもよい。なお、これらジャンル等を基準として個別に作成されるTV設定情報ファイルについては、視聴者が作成可能であることは勿論であるが、標準的なTV設定情報ファイルを作成しておいて当該ファイルを予め外部記憶媒体3やEEPROM19内に記憶させる方式をとることも可能である。

【0022】次に、TV設定情報ファイルを作成する動作について説明する。図6は、TV設定情報作成画面の表示例を示す図である。図1と同様に、1はテレビジョン受像機、2は表示画面、5はリモートコントローラを示し、21はTV設定情報作成画面を示す。また、図7は、TV設定情報作成画面の画面変化の一例を示す図である。視聴者は、例えばリモートコントローラ5に設けられたメニューボタン等を操作することにより、表示画面2上にTV設定情報作成画面21を表示する。TV設定情報作成画面21が表示されれば、視聴者は当該視聴者用のTV設定情報ファイル（ここでは、便宜上ファイル名を“ユーザ1”としておく）の作成を指示する。図7(a)に示されるように作成対象のTV設定情報ファイルのファイル名を“ユーザ1”としたうえで、視聴者はメニューボタン等を操作することでチャンネル設定データの inputs を指示する。そして、図7(b)に示されるようにチャンネル設定データの input 画面が表示されれば、例えばチャンネル番号3のテレビ放送をあまり見ることなく、チャンネル番号21のテレビ放送をよく見るような場合には、視聴者は図7(c)に示されるように選局番号3に対応するチャンネル番号を3から21に変更して当該視聴者用のTV設定情報ファイル“ユーザ1”を作成する。

【0023】次に、TV設定情報ファイルの共有化について説明する。図8は、テレビジョン受像機間におけるTV設定情報ファイルの共有化を説明する図である。図8において、1、1'はテレビジョン受像機、3は外部記憶媒体、4、4'は外部記憶媒体挿入口を示す。図8に示されるように、視聴者はテレビジョン受像機1により作成したTV設定情報ファイルを記憶した外部記憶媒体3を取り出し、その後に他のテレビジョン受像機1'に外部記憶媒体3を取り付けて当該視聴者用のTV設定情報ファイルによる各種設定を実施することで、自らが

7

所望するテレビ放送を直接選局するとともに、所望する画質状態および音質状態を実現することができる。これにより、外出先で視聴するテレビジョン受像機および買い換えられたテレビジョン受像機等のそれまでに視聴したことのないテレビジョン受像機に対してチャンネル設定、画質設定、音質設定等を簡便に実施することが可能となる。

【0024】以上のように、この実施の形態1によれば、例えばリモートコントローラ5に設けられた選局ボタンあるいはテレビジョン受像機1のフレーム前面部に設けられた選局キーのような複数の選局手段をそれぞれ識別する選局番号と、テレビ放送を特定するチャンネル番号とを対応付けるチャンネル設定データを少なくとも有しているTV設定情報ファイルを複数個記憶する外部記憶媒体3、EEPROM19等の記憶手段を備えるように構成したので、例えば視聴者毎に当該視聴者の嗜好に適合するように作成されたTV設定情報ファイルを選定する場合のように、視聴状況に応じて選定されるTV設定情報ファイルを用いてチャンネル設定を最適化することで、視聴を意図する多くのテレビ放送を選局手段により直接選局することが可能となるから、視聴者が所望するテレビ放送を迅速かつ簡便に受像機画面上に表示することができるという効果を奏する。

【0025】また、TV設定情報ファイルに、所望の画質状態を規定する画質設定データおよび所望の音質状態を規定する音質設定データを含めるように構成したので、視聴者は当該視聴者用に作成されたTV設定情報ファイルを選定するのみで所望の画質状態および音質状態を迅速かつ簡便に実現することができるという効果を奏する。

【0026】また、放送される特定のジャンルに対応するTV設定情報ファイル、あるいは特定の曜日、時間帯、または曜日と時間帯に対応するTV設定情報ファイルを記憶手段に記憶するように構成したので、一または複数の視聴者に係る嗜好的または趣味的に偏った視聴傾向あるいは一または複数の視聴者に係る時間的に偏った視聴傾向に対応することができて、偏った視聴傾向が顕現する状況においても、視聴者が所望するテレビ放送を迅速かつ簡便に受像機画面上に表示することができるという効果を奏する。

【0027】また、複数のTV設定情報ファイルを記憶する外部記憶媒体3をテレビジョン受像機1に対して着脱可能に構成したので、以前に視聴したことのないテレビジョン受像機についても、外部記憶媒体3を取り付けるとともに外部記憶媒体3に記憶されたTV設定情報ファイルに基づく種々の設定を実施することで、迅速かつ簡便に、所望する多くのテレビ放送の直接選局を可能にするとともに、所望する画質状態および音質状態の実現を可能にするという効果を奏する。

【0028】なお、実施の形態1により説明されるテレ

8

ビジョン受像機は、本願発明を限定するものではなく、例示することを意図して開示されているものである。本願発明の技術的範囲は特許請求の範囲により定められるものであり、特許請求の範囲に記載された技術的範囲内において種々の設計の変更が可能である。例えば、図2についてはアナログTV放送を受信するテレビジョン受像機を例として説明したが、チャンネル設定等を実現するための本願発明に特有な手段はアナログTV放送を受信する場合でもデジタルTV放送を受信する場合でも同一の構成を有するものであるから、本願発明がデジタルTV放送を受信するテレビジョン受像機にも同様に適用できることは明白であろう。また、上記実施の形態1においては、リモートコントローラ5に設けられたユーザ変更ボタンを操作することで種々のTV設定情報ファイルの切り換えおよび選定等を実施する構成としているが、テレビジョン受像機の表示画面上において例えばメニュー形式等として実現されている種々のユーザインタフェース機能を用いて実施する構成としてもよい。

【0029】

【発明の効果】以上のように、この発明によれば、それぞれがいずれか1つのテレビ放送を特定するための選局情報を出力可能であるように複数個設けられた選局手段をそれぞれ識別する選局番号と、テレビ放送を特定するチャンネル番号とを対応付けるチャンネル設定データを少なくとも有しているTV設定情報ファイルを複数個記憶する記憶手段を備えるように構成したので、例えば視聴者毎に当該視聴者の嗜好に適合するように作成されたTV設定情報ファイルを選定する場合のように、視聴状況に応じて選定されるTV設定情報ファイルを用いてチャンネル設定を最適化することで、視聴を意図するより多くのテレビ放送を選局手段により直接選局することが可能となるから、視聴者が所望するテレビ放送を迅速かつ簡便に受像機画面上に表示することができるという効果を奏する。

【0030】この発明によれば、TV設定情報ファイルに、所望の画質状態を規定する画質設定データを含めるように構成したので、視聴者は視聴者自身について作成されたTV設定情報ファイルを選定するのみで所望の画質状態を迅速かつ簡便に実現することができるという効果を奏する。

【0031】この発明によれば、TV設定情報ファイルに、所望の音質状態を規定する音質設定データを含めるように構成したので、視聴者は視聴者自身について作成されたTV設定情報ファイルを選定するのみで所望の音質状態を迅速かつ簡便に実現することができるという効果を奏する。

【0032】この発明によれば、放送される特定のジャンルに対応するTV設定情報ファイルを記憶手段に記憶するように構成したので、一または複数の視聴者に係る嗜好的または趣味的に偏った視聴傾向に対応することが

できて、嗜好的または趣味的に偏った視聴傾向が顕現するような状況においても、視聴者が所望するテレビ放送を迅速かつ簡便に受像機画面上に表示することができるという効果を奏する。

【0033】この発明によれば、特定の曜日、時間帯、あるいは曜日と時間帯に対応するTV設定情報ファイルを記憶手段に記憶するように構成したので、一または複数の視聴者に係る時間的に偏った視聴傾向に対応することができて、時間的に偏った視聴傾向が顕現するような状況においても、視聴者が所望するテレビ放送を迅速かつ簡便に受像機画面上に表示することができるという効果を奏する。

【0034】この発明によれば、複数のTV設定情報ファイルを記憶する記憶手段として、テレビジョン受像機に着脱可能な外部記憶媒体を用いるように構成したので、以前に視聴したことのないテレビジョン受像機についても、TV設定情報ファイルを記憶した外部記憶媒体を取り付けるとともに外部記憶媒体に記憶されたTV設定情報ファイルに基づく種々の設定を実施することで、迅速かつ簡便に、視聴を意図する多くのテレビ放送の直接選局を可能にするとともに、所望する画質状態および音質状態の実現を可能にするという効果を奏する。

【図面の簡単な説明】

【図1】 この発明の実施の形態1によるテレビジョン受像機を有するTVシステムの構成を示す斜視図であ *

*る。

【図2】 この発明の実施の形態1によるテレビジョン受像機の構成を示すブロック図である。

【図3】 本願発明で用いられるTV設定情報ファイルの一例を示す図である。

【図4】 本願発明で用いられるTV設定情報ファイルの他の例を示す図である。

【図5】 本願発明で用いられるTV設定情報ファイルの他の例を示す図である。

10 【図6】 TV設定情報作成画面の表示例を示す図である。

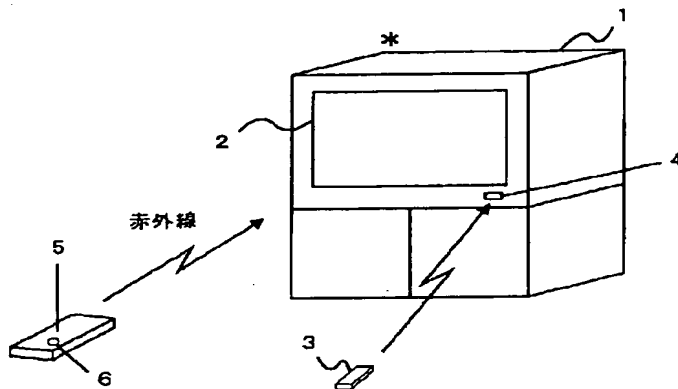
【図7】 TV設定情報作成画面の画面変化の一例を示す図である。

【図8】 テレビジョン受像機間におけるTV設定情報ファイルの共有化を説明する図である。

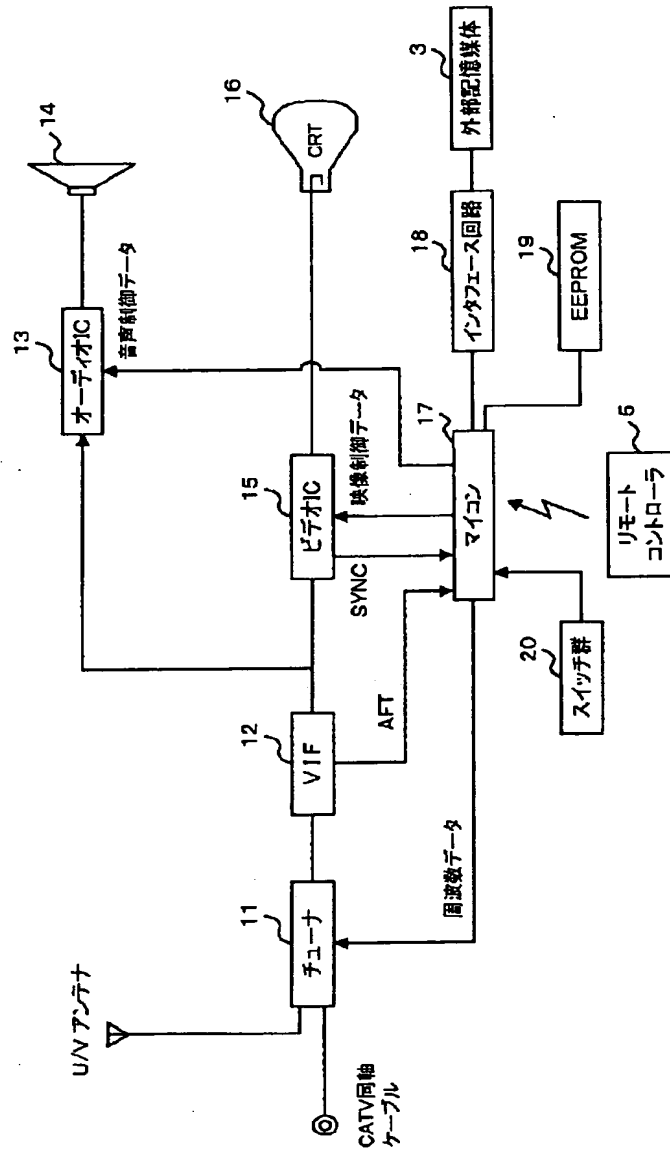
【符号の説明】

1 テレビジョン受像機、2 表示画面、3 外部記憶媒体（記憶手段）、4 外部記憶媒体挿入口、5 リモートコントローラ、6 ユーザ変更ボタン、11 チューナ回路、12 VIF回路、13 オーディオIC回路、14 スピーカ、15 ビデオIC回路、16 CRTディスプレイ、17 マイクロコンピュータ、18 インタフェース回路、19 EEPROM（記憶手段）、20 スイッチ群、21 TV設定情報作成画面

【図1】



【図 2】



【図3】

ユーザ1
ユーザ2
ユーザ3
チャンネル設定データ
選局番号 : チャンネル番号
1 : 1
2 : 2
3 : 18
...
画質設定データ
音質設定データ

【図4】

ニュース
チャンネル設定データ
選局番号 : チャンネル番号
1 : 1
2 : 4
3 : 10
...
画質設定データ
音質設定データ

アニメ
チャンネル設定データ
選局番号 : チャンネル番号
1 : 31
2 : 32
3 : 33
...
画質設定データ
音質設定データ

【図5】

土曜日
チャンネル設定データ
選局番号 : チャンネル番号
1 : 1
2 : 21
3 : 3
...
画質設定データ
音質設定データ

18:00-24:00
チャンネル設定データ
選局番号 : チャンネル番号
1 : 1
2 : 21
3 : 3
...
画質設定データ
音質設定データ

土曜日 18:00-24:00
チャンネル設定データ
選局番号 : チャンネル番号
1 : 1
2 : 21
3 : 3
...
画質設定データ
音質設定データ

【図7】

TV設定情報作成画面
ユーザ1
1 チャンネル設定データ
2 画質設定データ
3 音質設定データ
...
終了

(a)

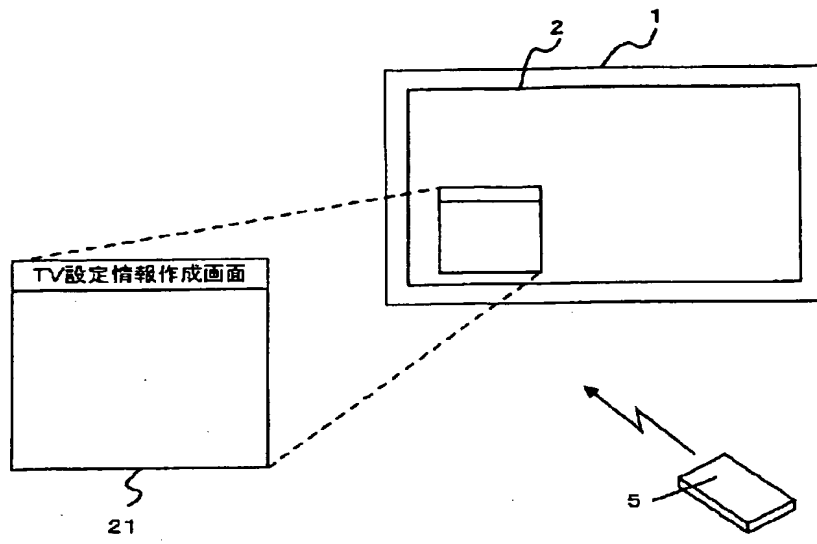
TV設定情報作成画面
ユーザ1
チャンネル設定データ
1 : 1
2 : 2
3 : 3
4 : 4
...
終了

(b)

TV設定情報作成画面
ユーザ1
チャンネル設定データ
1 : 1
2 : 2
3 : 21
4 : 4
...
終了

(c)

【図 6】



【図 8】

